

再評価結果（平成29年度事業継続箇所）

担 当 課：道路整備課

担当課長名：正木 昇

事業名	やましるひがしいややません きょうでん 主要地方道 山城東祖谷山線 京 田工区	事業区	主要地方道	事業主体	徳島県
起終点	自：徳島県三好市池田町京田 至：徳島県三好市池田町大申			延長	0.75km
事業概要 ：主要地方道山城東祖谷山線は、三好市山城町を起点とし、三好市東祖谷に至る延長約33.0kmの道路である。当路線沿いには、祖谷溪キャンプ村や祖谷溪温泉等があり、全国的にも有名な祖谷のかずら橋へのアクセス道としての役割も担っている一方、三好市池田町出合地区をはじめとする地域の唯一の生活道路として利用されている。しかしながら、当路線は、現道幅員は3～4m程度と狭小で、屈曲していることから、観光客をはじめ、諸車輛の通行に支障を来しており、これらを抜本的に解消するためにバイパス整備を行うものである。					
平成9年度事業化		—		平成14年度用地買収着手	
平成15年度工事着手					
全体事業費		27億円		事業進捗率	
				55%	
				供用済延長	
				0.40km	
計画交通量 1000台/日					
費用対効果分析結果	B/C	総費用 ：(残事業)/事業全体		総便益 ：(残事業)/事業全体	
	(事業全体) 1.1	10.4/30.7億円		22.4/32.7億円	
	(残事業) 2.1	事業費：10.3/30.5億円 維持管理費：0.1/0.2億円		走行時間短縮便益：20.3/30.2億円 走行経費減少便益：1.9/2.3億円 交通事故減少便益：0.2/0.2億円	
感度分析の結果					
【事業全体】交通量：B/C=1.2～1.0(交通量 ±10%)			【残事業】交通量：B/C=2.4～1.9(交通量 ±10%)		
事業費：B/C=1.0～1.1(事業費 ±10%)			事業費：B/C=2.0～2.4(事業費 ±10%)		
事業期間：B/C=1.0～1.1(事業期間 ±10%)			事業期間：B/C=2.0～2.3(事業期間 ±10%)		
事業の効果等					
・災害による孤立化の解消（国道32号【第1次緊急輸送路】の代替路線の確保、落石危険箇所4箇所の解消） ・にし阿波観光圏の魅力向上（祖谷溪、かずら橋等の観光地へのアクセス向上）					
関係する地方公共団体等の意見					
・沿線市町村で構成される「国道438号・439号並びに主要地方道山城東祖谷山線改良促進期成同盟会」から早期整備を求める要望を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
・平成18年3月に市町村合併（三野町、池田町、山城町、井川町、西祖谷山村、東祖谷山村）により三好市が発足。 ・平成25年4月に三好市を含む県西部地域を圏域とする「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」が認定					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
・平成27年度までの供用区間は、全延長0.75kmのうち約0.40km ・残区間はトンネルを含むバイパス部の0.35km					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
・地すべり観測調査より継続した変動が確認されたため。 ・工事促進に取り組み、平成32年度の供用を目指す。					
施設の構造や工法の変更等					
・地すべり対策工法およびトンネル坑門工の見直しを行った。					
対応方針 事業継続					
対応方針決定の理由					
以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図					

※総費用、総便益とその内訳は各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。